

令和6年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

この調査は、文部科学省スポーツ庁が全国の児童・生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等の状況を把握・分析し、児童・生徒の体力向上を図ることを目的として、小学校第5学年と中学校第2学年を対象に実施しているもので、令和6年度の調査は、4月から7月末までの間に実施されました。

■実技調査の結果

各学校では、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げの8項目の実技テストと運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査を行いました。

■本市の全体的な傾向

本市の全実技における体力合計点を全国平均値と比較すると、小学校は、男女ともにやや高い傾向にあり、中学校は、男女

ともに低い傾向にありました。また、全国と比べて地理や気候等の環境要因が近い東京都と比較すると、小学校男子(図1)プラス0.8ポイント、女子(図2)プラス0.7ポイント、中学校男子(図3)マイナス0.7ポイント、女子(図4)マイナス0.9ポイントという結果でした。

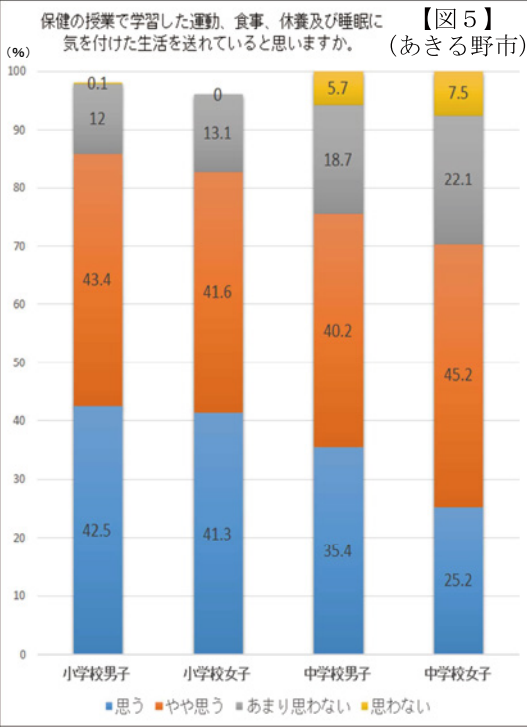
■質問紙調査の結果

本市の児童・生徒質問紙調査のうち、「保健の授業で学習した運動、食事、休養及び睡眠に気を付けた生活を送れていると思いますか。」(図5)の質問に「思う」「やや思う」の肯定的な意見は、小学校の男子が85・9パーセント、女子82・9パーセントであり、中学校の男子が75・6パーセント、女子70・4パーセントでした。

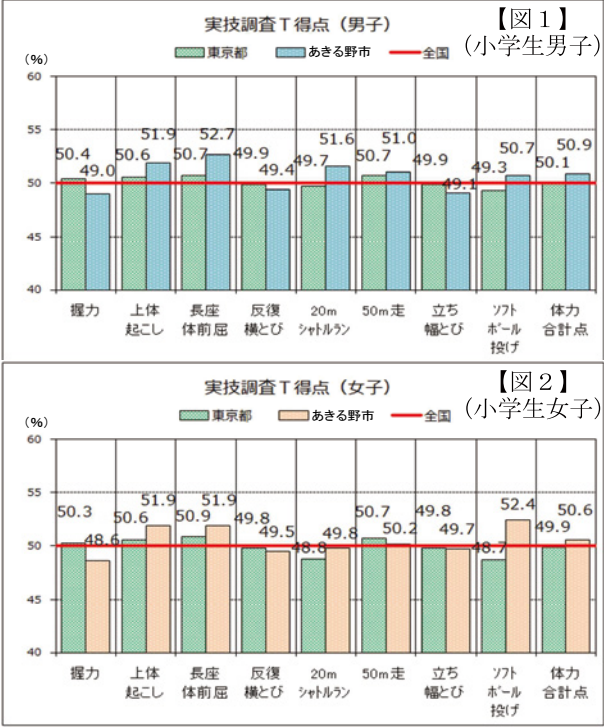
■今後の取組

これらのことを踏まえ、今後は、体育の授業において、筋力や持久力を向上させるための改善を図っていきます。また、保健の授業等において学習する質の良いバランスのとれた食事や適度な運動、十分な睡眠などについて、自分たちの実生活に関連付けて考え、主体的に生活習慣を見直して改善を図れるよう取り組んでいきます。

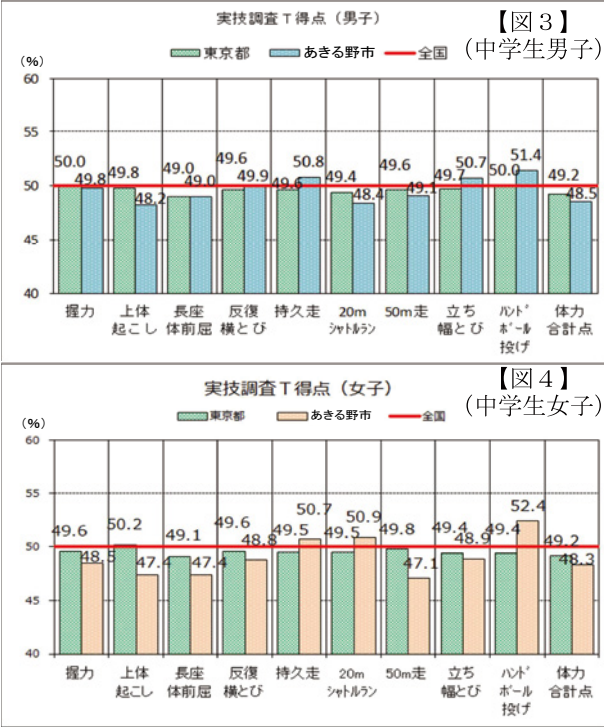
小・中学校 (運動習慣等調査の結果)



小学校 (実技調査の結果)



中学校 (実技調査の結果)



創立 50 周年記念式典

南秋留小学校



2月7日に、あきる野市立南秋留小学校で創立50周年記念式典が挙行されました。

南秋留小学校は、昭和49年4月1日に、東秋留小学校及び西秋留小学校の児童数増加に対応するために、当時、秋川市の中では5番目の学校(児童564人14クラス)として新設されました。

昭和55年には、学級数増加に伴い、プレハブ校舎を2棟増築し、ベビーブームなど時代の変化に応じ、あきる野市の教育を支えてきました。

30周年記念の際に作られたピオトーブは、教育目標に掲げる「考える子、心ゆたかな子、じょうぶな子」を育む上で、自然環境と学びを融合したこれ以上ない教材として南秋留小学校を象徴するものとなっています。今年度は、地域の方々の協力でピオトーブの清掃、ベンチや橋が設置され、より学びを実践できる場所となっています。



ピオトーブ

令和6年度

あきる野市

教育フォーラム



令和6年12月21日、秋川ふれあいセンターで、あきる野市立小学校PTA連合会と市教育委員会の共催で「令和6年度あきる野市教育フォーラム」を開催し、約50人の方々に参加していただきました。

講師として、埼玉県上尾市立上平小学校の中島晴美校長をお招きし、「子ども・保護者・地域・教職員とともにあるウェルビーイングな学校づくり」をテーマに、約90分間講演していただきました。先生からは、これまでの学校経営の実践や経験とともに、「S.P.R.E.E論」「幸せの4つの因子」「心理的安全性」等の理論を往還しながら、子どもと保護者や地域、教職員等、学校に関わる全ての人が幸せを感じられるような学校づくりについて多くの示唆をいただきました。参加された方々からは、肯定的な反響が数多く寄せられました。